

第1学年 技術・家庭科学習指導案(家庭分野)

日時 平成27年10月29日(木)公開授業Ⅳ

生徒 1年4組 男子15名 女子17名 計32名

指導者 日野杉いずみ

1 題材名 自分らしく着る・快適に着る

2 題材について

(1)題材について

学習指導要領「C 衣生活・住生活と自立」の中に「(1)衣服の選択と手入れについて、次の事項を指導する。ア 衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できること。イ 衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができること。ウ 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができること。」とある。

ここでは、衣生活に関する実践的・体験的な学習活動を通して、これからの生活を展望して、課題をもって衣生活をよりよくしようとする能力と態度を育てることをねらいとしている。

(2)生徒について

生徒が実際に衣生活にかかわる場面の多くは既製服を購入し、着用することである。中学生になり、自分で衣服を選択することも多くなってきた。だが、日常着の手入れ(洗濯や補修)に関しては、家族任せになっていることが多い。家庭科の学習が将来的な自立を目指すために必要であると考えている生徒が多いが、家庭の中で積極的に実践している生徒が多いとは言えない。できるだけ生徒の生活に即した具体を挙げて学習することにより、自分が着用する衣服の選択や手入れなどを自分の手で行う意欲へとつなげていきたい。また、自分の考えを持っていても人に伝えることを不得手としている生徒もいるので、グループ活動などで克服させたい。

(3)指導にあたって

小学校での既習事項や日常生活での経験を振り返らせながら、中学生として生活の場面でよりよく生かしていくイメージが持てるようにできるだけ具体を設けたい。学習した衣生活に関する知識や技能を日常生活や長期休業などの課題学習を通して、自分の生活に生かせる知識や技能として身につけられるように配慮していく。

本校の生徒のほとんどが1つの小学校から入学して来る。そのため、小学校での既習事項を取り上げやすい状況にある。「衣服の活用と選び方」については、小学校での「(1)衣服の着用と手入れ ア 衣服の働きと快適な着方の工夫」の学習から考えさせていく。

3 題材の目標

○衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。

【生活や技術への関心・意欲・態度】【生活を工夫し創造する能力】

○衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができること。

【生活の技能】【生活や技術についての知識・理解】

○衣服の材料や状況に応じた日常着の手入れができること。

【生活を工夫し創造する能力】【生活の技能】

4 指導計画 (C衣生活・住生活と自立 1 自分らしく着る・快適に着る : 12時間扱い 本時4/12)

次	時間	学 習 活 動
一	4	日常着の活用 ①衣服のはたらき ②自分らしく目的に合わせた着方 ③衣服の活用と選び方(本時4/4)
	6	日常着の手入れ
	2	環境に配慮した衣生活

5 本時の指導について

(1)目標 既制服を選ぶときのポイントを知ろう

(2)評価規準

観 点	B おおむね満足	Bに達成させるための手だて
知識・理解	・既制服の表示の種類と意味、選び方について理解している。	・7項目を手がかりに考えさせる。 ・グループ活動や板書を手がかりにまとめさせる。 ・衣服に付いている5つの表示を確認させる

(3)指導の構想

- ・自分が着ている衣服に着目させ、考えるきっかけとする。さらに今日の学習が自分の生活にも生かされている・生かしていくことができることに気づかせる。
- ・終末時に本時の学習を振り返りながら自己評価することによって、次時の自分の学習目標を明確にすることができる。と考える。

(4)展開

段階	学 習 活 動	形態	○ 教師のはたらきかけと指導上の留意点 ● 評価の観点(方法) ☆ 「見通す・振り返る」活動
導入 3分	1 衣服の入手と活用について知る。	個	○衣服の入手方法について、自分の生活を振り返りながらまとめさせる。 ・「購入」、「製作」、「ゆずり受ける」
	2 本時の課題を確認する	全	
既制服を選ぶときのポイントを知ろう			
展 開 40分	3 既制服の選び方のポイントを考え、まとめる。	個 グループ	☆既制服を選ぶときのポイントを「自分はどんなことに注意して選んできたか」を振り返り、グループごとに話し合っまとめ発表させる。 ・①「目的」②「手持ちと衣服との組み合わせ」③「サイズ」④「価格」⑤「手入れの方法」⑥「縫製状態」⑦「繊維の種類」 ●【知識・理解】プリントの記述
	4 既制服の表示とその意味について理解する。	個	○自分の衣服の表示を確認し、ワークノートに記入させる。 ・①「サイズ表示」②「組成表示」③「取り扱い絵表示」④「表示者名の表示」⑤「原産国表示」 ●【知識・理解】ワークノートの記述
終 末 7分	5 本時の学習を振り返りながら自己評価をする。	個	☆本時の活動をワークノートや学習プリントを使って振り返りながら自分の学びの評価を行うとともに、次時の学習の課題を確認する。 プリントの記述
<ul style="list-style-type: none"> ・これまではデザインだけで選んでいたが、これからは他のポイントも考えながら選びたい。 ・自分で買うときにはポイントに気を付けていきたい。 ・あまり気にしないで服を選んでいたが、気をつけて選んでいきたい。 ・今までもポイントは気をつけて選んでいたもので、これからも続けていきたい。 			